

唐木田コミュニティセンター運営協議会
第5回定期総会議事録

1. 日 時 平成27年(2015年)5月9日(土) 10時00分～12時17分
2. 場 所 からきだ菖蒲館 2階ホール
3. 来 賓
 - ・多摩市市長：阿部裕行
 - ・多摩市くらしと文化部部長：東島亮治
 - ・多摩市くらしと文化部主査：藤木浩
 - ・多摩市くらしと文化部主事：濱谷圭介
 - ・多摩市教育委員会教育部図書館長：中島幸
 - ・多摩市教育委員会教育部唐木田図書館館長：栗崎佳津美
 - ・多摩市子供青少年部唐木田児童館館長：三枝弘士
 - ・和(なごみ)カフェ店長：池上ヒロ子
4. 出席者数 43名 委任状 19名 計 62名 (5月9日現在の運営委員数 67名)
 - ・司 会 金光 秀郎
 - ・議 長 望月 健太郎
 - ・書 記 平 修
 - ・議事録署名人 森 優美子・古澤 秀人
 - ・議事進行補佐 後藤事務局長
5. 配布資料 唐木田コミュニティセンター運営協議会 第5回定期総会平成27年度議案書
 - (1) 第1号議案 平成26年度活動報告(案)
 - (2) 第2号議案 平成26年度決算報告(案) 監査報告書
 - (3) 第3号議案 平成27年度活動計画(案)
 - (4) 第4号議案 平成27年度予算(案)
 - (5) 報告事項 ① 施設使用規程の一部改定 ② 新会員の報告

司会者 金光総務企画副部長 議事進行

10:00 開会

6. 挨拶

・会長挨拶 河本博治会長

本日は、お忙しい中を第5回唐木田コミュニティセンター運営協議会の定期総会に出席して頂き有難うございます。唐木田菖蒲館がオープンして早5年を迎え、年々、多くの事業活動が展開され内容も充実してきました。これは運営委員はじめ事務局スタッフ並びに関係者各位のご協力、ご支援のお蔭と感謝しております。

運営協議会が直面している課題は、運営委員の増強です。昨年の1年間で純増10名、合計67名となりました。また、昨年から導入しました協力員制度では28名の方に加入頂きました。このうち14名は、従来から高齢者食事会の料理ボランティアとしてご協力をいただいております。純増は14名となります。ここ数年の漸減状況から脱し運営委員会発足時の70名に近づいたことは喜ばしい限りで

す。本年度もこの傾向を持続すべく力を注いでいきたいと考えています。

これからの事業活動を発展させ、充実するには委員の拡大が不可欠であります。運営委員の皆様には友人・知人・ご近所の方にも加入への呼びかけを引き続きお願い致します。

これから平成 26 年度の事業活動の結果報告と決算報告を、平成 27 年度の事業計画と予算について、ご審議をしていただきます。節目の 5 年目にふさわしい、充実した活動が展開されますよう期待しまして開会のご挨拶といたします。

～10:06

・来賓挨拶 多摩市市長：阿部裕行 (10:44～10:54)

他のコミセンの総会に出席していて遅くなり申し訳ありません。唐木田コミュニティセンター運営協議会第 5 回定期総会を迎えられておめでとうございます。5 年目をむかえる菖蒲館、皆さんのお力添えにより、唐木田菖蒲館がひかり輝いていることを実感しています。

「菖蒲館まつり」に毎年参加させていただいていますが、天気にも恵まれ子供達も喜んで大変賑わっている。今日もホールにこいのぼりの絵があり、コミセンが活性化していて、「館」を作ってよかったと思っている。多摩市も活性化する取組をしていますが、世の中全体は少子化、高齢化で厳しい状況であり、現実でもある。

3.11 の大震災以降は 10 年 20 年何がおきてもおかしくない。日本は火山列島、長い歴史から見れば、自然現象と共に歩んでも来ている。地球環境の変化によって竜巻、集中豪雨などの地球全体に自然災害も発生するなど地球環境全体が傷ついている。

多摩市は 4 月組織改正を行い市民経済部に産業観光課を設置した。地域の資産「よこやまの道」、「ハローシティ」・「東京ヴェルディ」の応援を行う。また、健康福祉部に健幸まちづくり担当課を新設した。さらに、公共施設の見直し・パルテノン多摩などに、民間活力導入を進めていくために企画制策部に特別地方担当を設けた。

地球環境や 2020 年東京オリンピックに向け、総力を挙げて、幸せにいられる街を作っていきたい。核がこのコミュニティセンターであり唐木田菖蒲館です。地域の中で顔の見える拠点として活性化し街全体が元気になっていくことではないかと思う。色々課題もありますが、持続可能な街づくりを皆さんの力を頂きながら進めていきたい。将来に向けて借金漬けにならないように子供たちに負担をさせない政策を対話しながら進めていきます。河本会長はじめ今日ご出席の皆さんの力で、子供たちの未来の為に奮闘をお願いします。

・来賓挨拶 多摩市くらしと文化部部长：東島亮治

市長は他のコミセンの総会に出席しているので後で挨拶して頂きます。定期総会の開催おめでとうございます。

4 月 1 日の人事異動で多摩市くらしと文化部部长と係長の変更と多摩市教育委員会教育部図書館長の変更がありました。今後も愛される菖蒲館となる様に事業を通しての支援をしていきたい。

・司会者から来賓者の 6 名の紹介がある。

・司会者から総会議長の選出方法について提案がある。

7. 総会議長の選出

- ・運営協議会運営細則第3条の規定により、総会出席者の中から議長に望月健太郎氏が推薦されて満場一致で決定される。

議案書の訂正について司会の金光総務企画副部長から説明がある。

- ・議案書の一部訂正の内容

- (1) 6 ページ 1 行目「①夏だ！浴衣だ！盆踊り」の「①」を「②」に訂正。
- (2) 6 ページ 3 行目「②」を「③」に訂正。
- (3) 6 ページ 5 行目「③」を「④」に訂正。
- (4) 6 ページ 6 行目「④」を「⑤」に訂正。
- (5) 12 ページ 1 行目 添付資料「4」を「5」に訂正。
- (6) 17 ページ一番下の行「②協力員 14 名」を「28 名」に訂正。

8. 書記・議事録署名人の指名と総会成立の宣言

- ・議長が運営協議会運営細則第3条の規定により、書記に平修氏、議事録署名人に森優美子氏、古澤秀人氏を指名した。
- ・議長が運営協議会議決権総数 67 名、本日の総会出席者 43 名、委任状提出者 19 名、合計 62 名、欠席 5 名であり、議決権総数の過半数に達しており、運営協議会会則第6条の規定により、本総会が有効に成立したと宣言した。
- ・議長が議事進行補佐に後藤事務局長を指名した。

9. 議 事

- ・議長から、本日の議案「第1号議案～第4号議案の審議、議決と報告事項」の内容説明がある。「第1号議案と第2号議案」をまとめて報告、審議したい旨の発言があり、承認された。

第1号議案 平成26年度活動報告(案)

- ・議案説明 河本博治会長から、平成26年度活動報告のうち総括について。(議案書 P2～P3) 橋本勳副会長から、総務企画部会と広報部会の活動について。横倉敏郎副会長から、健康・スポーツ部会、福祉部会、文化部会、まちづくり部会、特別委員会の活動について報告した。(議案書 P3～P12)

1. 総括 運営について

- (1) 唐木田コミュニティセンター運営協議会定期総会
- (2) 指定管理者関係
- (3) 定例会議関係
- (4) 連絡会関係
- (5) 会計・経理関係
- (6) その他、特記事項

2. 総務企画部会

3. 広報部会

4. 健康・スポーツ部会

5. 福祉部会
6. 文化部会
7. まちづくり部会
8. 特別委員会

～10:44

※ ここで多摩市長の挨拶が入る。 (10:44～10:54)

第2号議案 平成26年度決算報告(案)

- ・議案説明 吉江勉会計役員から、平成26年度決算について報告した。(議案書 P13～P15)
- ・監査報告 石田禎頭監事が、「監査報告書」を読みあげ監査報告をした。(議案書 P16)

～11:02

質疑応答

- ・質疑 まちづくり部会 桐木優委員
 - ・貸室業務について、50%を切っている利用率をどう上げていくのか。他のコミセンでは貸時間を工夫しているようだが今後検討する考えはありますか。
- ・回答 河本博治会長
 - ・貸室利用率の向上の件、昼間の貸室はほぼ満室の状態、夜間は極端に利用が少ないので、館全体の利用率を下げている。利用率には表れないが、ギャラリーでの学生の勉強などへの便宜を図り、館の有効利用を促している。今後は有料でない利用スペースのロビー、図書館前のブラウジングコーナーなど利用した来館者を含めて、利用率としてとらえることを問題提起し市に検討してもらっている。
- ・質疑 まちづくり部会 桐木優委員
 - ・決算の中で科目間の流用、項目の付け替えがあったのか。その手続きはどのようにしているのか。
- ・回答 吉江勉会計役員
 - ・予算項目の範囲内で処理することを原則としていますが、もし科目流用が必要となった場合は、役員会で議決事項として処理しています。市による各コミセンの統一した会計処理の基準が明示されていない。現在運営協議会はみなし法人で、事業活動も行っているため、NPO法人の会計基準も視野に入れながら会計処理をしているが、実務上は市の単式簿記会計の影響が大きい。
- ・質疑 まちづくり部会 松原俊範委員
 - ・決算書15ページの福祉環境部会は誤りで、福祉部会ではないかの指摘あり。
 - ・議長が指摘の「環境」を削除するよう説明。
- ・質疑 まちづくり部会 松原俊範委員
 - ・コミセン貸室の有効利用の観点で、現在のコマ割13時から17時では長くて使え切れないとの団体からの意見もある。13時から15時、15時から17時などあってもいいと思う。改訂など周知が必要と思うが来年度あたりまでに検討してほしい。

- ・回答 河本博治会長
 - ・コマ割りについては条例で規定されている。条例改正しないと変更できない。一昨年の利用者懇談会でこのコマ割りについて意見を聞いたところ、結論は現行で良いとなった。もし条例改正となれば利用者の意見を添えて、市に申請する必要がある。今年度の利用者懇談会で午後のコマ割り変更について意見を聞くことも考えられるが、20団体程度の参加なので、多くの利用者の声を聴くにはアンケートを取ることが利用者の声をより反映できると考える。今年度の計画では、利用者の声を聞いてコマ割りの改定が必要となれば条例改正に向けて市にお願いします。
- ・質疑 まちづくり部会 松原俊範委員
 - ・夜間の利用が少ない、夜間に限らず前日までに予約がない場合に、当日の利用料が半額などの制度を作れば、稼働率が上がる。収入は半額となるが有効活用の一つ方法として検討されてはどうか。
- ・回答 河本博治会長
 - ・夜間利用の促進の件につき、料金を半額に変更するには条例の改訂が必要である。当館だけ使用料を半額にはできない。全館同じフィールドにしなければならない。各館によって利用状況が違うようだ。関戸のコミセンは夜間の利用が高いが菖蒲館とトムハウスは夜間の利用が低い。館の地理的なこともある、駐車場がないことが利用者のネックとなっている。利用がないなら早く館を閉めたらとの考えもある。電気、水道、人件費の経費も抑えられる。考え方は3つほどの選択はあるが、問題もあることもご理解頂きたい。
- ・質疑 まちづくり部会 松原俊範委員
 - ・まちづくり部会の「花いっぱい運動」事業規模が30万円以上なので事業報告に議案書の添付資料があってもよかったのではないかと思う。
- ・回答 橋本勲副会長
 - ・部会で議論したか。議論をして添付するかは今後部会で検討をしてほしい。
 - ・尾崎部会長からは、部会では詳細な議論はしていないとの説明がされた。
- ・意見 まちづくり部会 池田正委員
 - ・利用時間は条例で決まっていることを知った。利用者の立場でコマ割り時間の検討を進めてほしい。
- ・質疑 広報部会 戸辺文博委員
 - ・老朽化で音響装置を替えたとのことですが、まだ3、4年しかたっていないのになぜ老朽化なのか。
- ・回答 橋本勲副会長
 - ・音質が悪くなく、音が割れてしまうとの利用者からの意見もあったので今回は音楽に対応できるように装置を交換した。
- ・質疑 広報部会 戸辺文博委員
 - ・予約の開始を早くしてほしい。利用についてはみんなが幅広く利用出来るように考えてほしい。

・回答 河本博治会長

- ・現在、市の公共施設利用は、インターネット申込みであり、コミセンのみが来館申込み方式をとっている。市当局と他のコミセンを交えて検討していますがデジタルデバイドの問題もあり、コミセンの近隣の皆さんにご利用いただく趣旨から、今のままで良いとの意見もあります。引き続き検討していくこととしています。

採 決

- ・第1号議案が賛成62、反対0、全員の賛成で原案のとおり承認された。
- ・第2号議案が賛成62、反対0、全員の賛成で原案のとおり承認された。

～11:35

第3号議案 平成27年度活動計画(案)

- ・議案説明 河本博治会長から、平成27年度活動計画(案)の運営方針について説明した。(議案書 P17～P18) 次に各部会長から各部会の事業計画について説明した。(議案書 P18～P21)

1. 運営方針

- (1) 会議
- (2) 会計・経理
- (3) 運営委員・協力員
- (4) 情報活動は、広報紙、ホームページ等で広く発信
- (5) 児童館の休館時、運営協議会主催事業で利用(覚書)
- (6) 図書館及び児童館と積極的な協働

2. 事業計画

- (1) 総務企画部会
- (2) 広報部会
- (3) 健康・スポーツ部会
- (4) 福祉部会
- (5) 文化部会
- (6) まちづくり部会
- (7) 特別委員会

～11:55

質疑応答

・意見 まちづくり部会 松原俊範委員

- ・現在の朝市(第3日曜日)に加え、第1日曜日・第2日曜日も開催をしてはどうか。
- ・広報発行は2ヶ月に一回の発行は少ない。毎月発行をしてほしい。
- ・花いっぱい運動についてはみんなの絆が必要だと思う。

議長 意見として承っておきます。

採 決

- ・第3号議案が賛成61、反対1、賛成多数で原案のとおり議決された。

～11:59

第 4 号議案 平成 27 年度予算(案)

- ・議案説明 橋本勳副会長から、平成 27 年度予算(案)について説明した。(議案書 P22～P24)

質疑応答

- ・質疑
なし

採 決

- ・第 4 号議案が賛成 61、反対 0、賛成多数で原案のとおり議決された。

～12:12

- ・議長から、本総会における第 1 号議案から第 4 号議案までの採決結果が確認された。

- (1) 第 1 号議案 賛成 62、反対 0、全員賛成で原案のとおり承認。
- (2) 第 2 号議案 賛成 62、反対 0、全員賛成で原案のとおり承認。
- (3) 第 3 号議案 賛成 61、反対 1、賛成多数で原案のとおり議決。
- (4) 第 4 号議案 賛成 61、反対 0、賛成多数で原案のとおり議決。

報告事項

1. 施設使用規程の一部改定

- ・佐藤総務企画部会長から、施設使用規程の一部改定について報告した。(議案書 P25)

2. 新会員の報告

- ・佐藤総務企画部長から、平成 26 年度唐木田コミュニティセンター運営協議会運営委員の入会退会者について報告した。(議案書 P26)
- ・議長から、唐木田コミュニティセンター運営協議会第 5 回定期総会の審議事項、報告事項のすべてが終了したとの終了宣言があり閉会した。

12:17 閉会

以上

議事録の証として、運営協議会運営細則第3条の規定に基づき、議長及び議事録署名人が署名・捺印する。

平成 27年 5月 30日

- ・議長 望月 健太郎 
- ・議事録署名人 森 優美子 
- ・議事録署名人 古澤 秀人 